

令和元年 11 月 12 日
姫路海上保安部

五管区初！漁業関係者等の子供たちをLGC委嘱 ～LGCとの共同作業で防波堤に安全啓発標語を記載しました～

姫路海上保安部では、全国漁船安全操業月間中の令和元年 10 月 26 日（土）、姫路市白浜町所在の妻鹿漁港において、地元漁業協同組合や工事作業船関係者のご子息ご息女 4 名を姫路海上保安部長から LGC（ライフガードチルドレン：当部では安全推進少年隊と命名）に委嘱しました。

早速、LGCの初仕事として妻鹿漁港の防波堤に安全啓発標語「ライジャケは
家族にとっても 命綱」を白色ペイントで記載しました。

この防波堤へ記載する安全啓発標語は、姫路市漁業協同組合白浜支所により考案したもので、漁港内の係留漁船、プレジャーボートまた、とれとれ市場に出入りする漁船等の出港時、必ず操船者の視野に入ることから、ライフジャケット着用意識の啓発に繋がるようにと漁協と当部が連携して防波堤に記載したものです。

LGC委嘱式及びLGCによる防波堤への記載には姫路市漁業協同組合白浜支所長や大塩支所長を始め、保護者、姫路農林水産振興事務所長、海上安全指導員が立会い、今後とも関係者一同は、事故防止に努めていくことを確認しました。

この模様は、地元テレビ局の取材によって、当日のお昼のニュースで1分以上にわたって放送されたことから、効果的な海難防止活動の周知になったものと思われます。

LGC委嘱式



LGCによる安全標語の記載



LGCによる釣り人への安全啓発用リーフレットの配布



安全啓発標語の完成



関係者による記念撮影

